

NODA・MAP第18回公演『MIWA』制作発表ルポ



宮沢りえ



瑛太



井上真央



小出恵介



浦井健治



青木さやか



池田成志



古田新太

異能の人の半生を鏡に、日本の戦後を照らし出す。

空前絶後と形容される豪華キャストが揃ったNODA・MAPの新作『MIWA』。

宮沢りえ、瑛太、井上真央、小出恵介、浦井健治、青木さやか、池田成志、古田新太と、主役級がずらりと揃う。

彼らが演じるのは美輪明宏の人生。野田秀樹が初めて扱う“生きている有名人”だ。

戦争、芸術、同性愛、歌など、様々なキーワードが浮かび上がる異能の人をモチーフに野田が描くものは？

8月22日に行われた制作発表をレポートする。

少年の目を通して世界を描く

制作発表では最初に美輪明宏からのコメントが映像で紹介された。「今まで、漫画家だとか小説家だとか、いろんな方が(自分の半生を作品にしたいと)おっしゃってくださったんですけど、私も『紫の履歴書』って自叙伝を出してますから、それだけで結構ですってお断りしてきたんですよ。ところが

野田さん(が舞台化したいと希望している)と聞いて、またあの悪戯小僧が、と思って(笑)。それだったら、どんな減茶苦茶な出鱈目にされてもおもしろいんじゃないかしらって(OKを出した)」
美輪の自宅で撮影された映像の表情と口調からは、本物の美や才能を見極める厳しい目を持つ美輪が、同じクリエイターとして野田を信頼していることが伝わってきた。

続いて紹介されたのは役名とそれぞれの意気込み。コメントは次の通り。MIWA役の宮沢りえは「野田さんとお仕事させていただく時は、台本を読んですぐに道が見つかるわけではなくて、稽古をしてみないと時間を費やしていくうちに、段々と出来上がっていくんです。美輪さんという怪物を演じるに当たって、今、プランみたいなものはゼロですが、すごく心強いメンバーです。野田さん

を信じているので、お稽古の中でいろんなものを見つけていきたいと思います」。幼恋繋一郎(おさなごいけいいちろう)役の瑛太は「以前からワークショップには何度か参加していましたが、とても居心地がよく、かつ刺激的で、いい時間を過ごせたなあと感じていました。今回、出演させていただくことができうれしく思っていますが、気負わずやっていけたらと。あと、宮沢りえさんとドキッとするようなシーンがあるようなので、最後までドキドキしたいなあと感じてます(笑)」。

聖母マリア役の井上真央は「野田さんのワークショップには、16、17歳の時に参加させていただいたんですけど、それから今までの10年間はほとんど映像を中心にやらせていただいたので、その私が舞台の世界、NODA・MAPの中でどこまで通用するかちょっと恐くもあり、楽しみでもありますね」。通訳役の小出恵介もワークショップ経験組で「僕も以前から5、6度参加させてもらっているんですけど、(それでも声がかからないので)出演に関しては諦めてました。だから今回の参加がすごく嬉しいです。そして台本を少し読んで、野田さんに役を書いていただくということが改めて感慨深かったです。ただ、職業がそのまま役名で。もうちょっとこう、不思議な役名が欲しかったですね(笑)」。

やはり職業が役名のボーイ役の浦井健治は「自分がまさかNODA・MAPに出られると思っていなかったんで驚いています。ワークショップでは美輪さんの

自叙伝を使って、皆で創作をしたんですけど、それがものすごく面白くて。そのメンバーでまたやっていけるのはすごく幸せに思います」。負け女役の青木さやかは、野田に直接「NODA・MAPに出たい」と伝えての登板になった。「それでワークショップに呼んでいただいたんですが、小出さんが出るのを諦めていたとおっしゃるぐらいですから、私なんかもっと諦めていたんです。何しろ私はファンのひとりみたいな感じだったりするので。今回出させてもらえるのが、嬉しい反面、不安もすごく大きいです。日向陽気(ひなたようき)役の池田成志は「THE BEE」ジャパニーズバージョンで何役もこなしたが「今回も同じようなもので(明確な役名はひとつだが)、キャスト表を見たらまた膨大な役が……。それだけで台本を読むのいやになっちゃいました(笑)」。

アンドロギヌス役で、NODA・MAP作品には野田に次いで最多出演しているという古田新太は「空前のキャストで仲良く年末まで行けたらいいなって思ってるくらい(緊張はない)。1回目の食事はいつにしようかな」と余裕を見せた。

さて内容は、キーワードのひとつが“少年時代”らしい。野田は言う。「美輪さんはいつの時代も周囲に流されず、ズバツと真理をつかんでしまう。どうやってそういう人間が育ったのか、ご本人は“生まれ育ったのが長崎の遊郭の裏で、あらゆる種類の人間を見て来た。そこで人間を見る目が養われ

た”と語られていましたけど、『MIWA』でも少年が見る周りの世界を大事にしようと思っています」。

神話と組み合わせるなどして繰り返し少年をモチーフにした野田が、美輪の半生と出会い、刺激的なキャストにインスパイアされ、新たな少年時代を描く。それは個人史の姿を借りた日本史となるはず。やはり見逃すわけにはいかない。

取材・構成:徳永京子



野田秀樹

NODA・MAP 第18回公演『MIWA』

東京公演
2013年10月4日(金)～11月24日(日)
東京芸術劇場 プレイハウス
主催:NODA・MAP
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

大阪公演
2013年11月28日(木)～12月1日(日)
シアターBRAVA!

北九州公演
2013年12月6日(金)～12月8日(日)
北九州芸術劇場 大ホール

公演に関するお問合せ
NODA・MAP 03-6802-6681
www.nodamap.com/miwa

詳細はP111-P14へ